

民主

PRESS MINSHU

2003・10・10

号外

民主党広報・宣伝委員会
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
<http://www.dpj.or.jp>

埼玉県第6区総支部版

上尾・桶川・北本
鴻巣・伊奈・吹上

民主党埼玉県第6区総支部
〒363-0021 桶川市泉2-11-32
電話 048-789-2130



大島あつし

「衆議院解散にあたって」

■ いよいよ総選挙

私は国会にはいつも議員会館側の門から入ります。しかし、解散当日は大きな節目ということで、3年4ヶ月前の初登院の日と同じように正門から国会に入りました。

衆議院は、10月10日午後1時から開かれた本会議で、簡単な人事案件を決議した後、議長が解散詔書を読み上げて解散しました。今回の解散は憲法7条(内閣の助言と承認による天皇の

国事行為を定める)を根拠とする「首相の解散権行使」によって行われました。2000年6月の森内閣での解散以来3年4ヶ月ぶりのことです。総選挙は10月28日公示・11月9日投票という日程で実施されます。

◆充実した3年4ヶ月

お蔭様で、この3年4ヶ月の間に計48回、1475分間、質問に立つことが出来ました。また有事法制関連三法案に対する賛成討論を民主党を代表して行なうなど、歴史的な場面にも立ち会い、初当選した選挙で公約した雇用対策の法律も2本つくりました。その他にも多くの細かいテーマを追ってきました。

いずれにせよ、私としてはこの3年4ヶ月、満足できる政治活動ができたという自負しています。その間、年末、年始、お盆も活動をしていましたので、ほとんど休みませんでした。我ながら、よく走ってきたという感慨もあります。初当選の際に投票して頂いた80,342人のお気持ちに対しても、ある程度は応えられたのではないかと思っています。

◆淡々と行われた解散の“万歳”

議長が解散詔書を読み上げ後、議場の衆議院議員が万歳をするというのが一種の解散における慣例となっています。万歳のときに議場がどんな雰囲気になるのか、皆やけくそで万歳するのかもしれないなどと興味深かったのですが、実際には淡々と終わったという印象です。それは、今回は突然ではなくて何ヶ月も前から予定されていたスケジュール通りの解散で、衆議院議員は皆すでに選挙モードに入っているからなのでしょう。

万歳の後、私は周りの同僚や先輩たちと「またここで会いましょう」と握手をしたのですが、周りもそんなふうには握手をしている議員たちばかりでした。1回の総選挙では衆議院議員の3分の1ほどが入れ替わると言われています。つまり480人のうち160人前後が失職するということです。

◆2期目の活動に向けて

選挙に当選し国会活動をするには、本人の能力だけでは不可能です。多くの方々が増えて下さったからこそ、衆議院議員として今まで活動することができました。朝から晩までビ

ラ配りやポスティングをして下さった方、電話をかけて下さった方、車の運転を手伝って下さった方、お声をかけて下さった方、お知恵を貸して下さいました方……。挙げればキリがありません。自分たちの努力などは微々たるものです。

皆さんの総意があって自分自身が活動できますし、この3年4ヶ月の間、支えて下さる方がさらに増えてきたのは本当にありがたいことと感じます。こうした皆さんの想いを更に国政に反映させるためにも、大島は2期目の活動に向けて全力を尽くすことを、ここにお誓い致します。

前衆議院議員

大島 功

